

有線式電信体験セット取扱説明書

XRQ技研

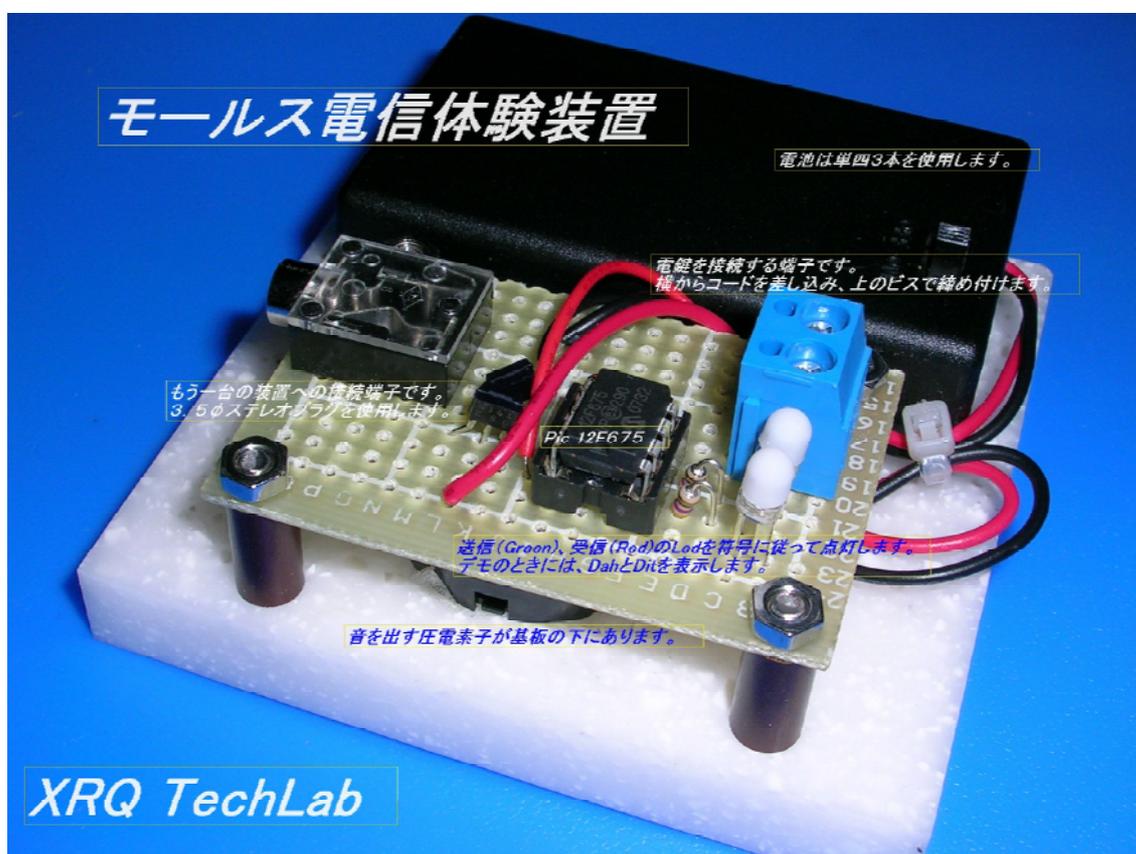
このセットに収納しているもの（一覧）

電信送受信機 2台

ステレオ3線コード 5m2本

コード接続プラグ 1個

※電鍵は入っていません。ご用意ください。



動作概要

- ①電鍵を接続ターミナルに取り付けてください。使用できるのは縦振り式の電鍵です。スイッチを入れると XRQTechLab と音が出て待機状態になります。**（通常動作モード）**電鍵を押すと送信になり緑の Led が点灯します。受信の時には赤 Led が点灯します。受信で音の高さが異なるようになっています。3.5mm φステレオプラグ付き3線コードを2つの装置を繋ぐと、相互で単信方式の通信が行えます。コードは2本に延長することができます。

受信優先のプログラムですので、相手が送信中、電鍵を押して割り込みを懸けることができます。

②電鍵を押しながらスイッチを入れると自動符号モードになります。**(欧文・数字モード)**
アルファベット (A ~ Z)、数字 (1 ~ 0) の順です。モールス符号のデモとして使えると思います。

③欧文・数字モードの状態電鍵を1符号送出の間押していると、和文が追加されます。**(欧文・数字・和文・記号モード)**

アルファベット、数字、ホレ2回、和文 (イ～ン)、記号 (半濁点～終了) の順です。

④通常動作モードに戻すには一度電源を切り、再度電源を入れます。

※電池ボックスには単4電池が3本入っています。電池が消耗した場合には交換してください。(電池ケースは両面テープで基台に貼ってあります。強く引くと剥がれます)

使用法のアイデア

イベントなどで、たくさんの方にモールス通信に触れてもらいたいと思います。特に小学生など子ども達は、モールス符号そのものを知らない子が多く、意図的にこのような機会を設けることが大事だと思います。

体験を通して、モールス通信の有用性、おもしろさを伝えていくようにしましょう。

- 1 無線の交信を展示する片隅で、モールス符号の一覧表を掲示し、Dah と Dit の組み合わせで通信ができることを解説する。
その際、この装置を**欧文・数字モード**で動作させ、音と光で注目を集める。
- 2 人が集まりだしたら、実際の通信を試みようとして体験へ誘う。
ゲームを通して
電鍵の操作方法を説明し、この装置を**通常モード**で立ち上げる。
別紙のゲーム用紙を配布し、それに従って二手に分かれたお客さん相互に通信を行ってゲームを進行する。補助者はお客さんが迷っている場合のみ助言を行うようにし、お客さん自身がモールス符号で意思の伝達できた喜びを感じるようにする。
- 3 実際の交信の様子を無線機から聞いてもらい、どこの局が交信しているのかなど簡単な説明を行う。

※モールス符号を覚えてもらうことが目的ではなく、このような単純な音の断続でも通信ができる体験をしてもらい、興味を喚起することを目的とするのがよいと思います。